

ゴマリグナンを含む尿毒物質低減剤

セサモールが腸内細菌の尿毒物質生成酵素を阻害する

概要

糖尿病性腎症（DN）の原因因子としてフェニル硫酸（PS）やインドール硫酸（IS）がある。これらの化合物は、食事から摂取したタンパク質の代謝物であるフェノールやインドールと、腸内細菌が生産するチロシンフェノールリアーゼ（TPL）やトリプトファンインドールリアーゼ（TIL）が反応して生じる。体内のPSやISを減少させることがDNの予防や治療にとって重要だが、これらが原因因子として明らかになったのも最近であり、減少に有効な物質は見つかっていない。本発明は、ゴマリグナン化合物を有効成分とするTPLやTILの阻害剤に関するものである。

応用例

- 医薬品
- 機能性食品
- サプリメント

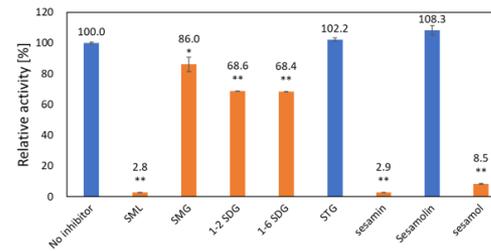
知的財産データ

知財関連番号 : 特開2022-135978
 発明者 : 中山 亨、及川 大樹、阿部 高明
 整理番号 : T20-695



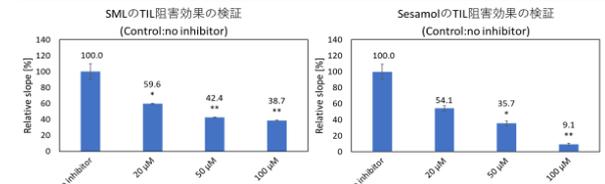
性能・特徴等

ゴマリグナン類のTPL阻害効果の検証



* : $p < 0.05$ ** : $p < 0.01$ (Control : No inhibitor)

TILの阻害試験



関連文献

1. Biochemical and Biophysical Research Communications 590 (2022) 158-162. <https://doi.org/10.1016/j.bbrc.2021.12.088>

お問い合わせ



株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH